

# 中 学 部

## 1 目 標

- (1) 自分の役割に気付き、目標の達成に向けて自ら学ぶ態度を育てる。 <自ら学ぶ>
- (2) 興味・関心を広げ、自ら働き掛けて他者とつながる力を育てる。 <豊かに表す>
- (3) 基本的な生活習慣を身に付け、健康で楽しい生活を営む力を育てる。 <健やかに生きる>
- (4) 生徒同士の関わりを深め、相手を思いやる豊かな心を育む。 <手をつなぐ>

## 2 重点事項

- (1) 生徒一人一人の「目指す姿」や「重点目標」を教科担当や学習グループ内で共有し、主体的に学ぶ姿を育む授業実践を行う。

- ① 自立活動シートを基に、学部会で生徒理解の機会を設定する。
- ② 類型ミーティングで単元構成や目標、指導体制等の検討を行い、チームで授業づくりをする。
- ③ 生徒が考えたり選択したりする場面や、心の安定を生む十分な活動時間を設定する。
- ④ 生徒の学びの姿を見取って授業を振り返り、学習の評価を次の授業に生かす。

- (2) 校内外の人との交流や体験的な活動を通して、自分の気持ちや考えを伝え、様々なことに挑戦する態度を育てる。

- ① 自分から進んで挨拶をしたり、感謝の言葉を伝えたりできるように、学習活動の中で様々な人と関わる場を繰り返し設定する。
- ② 校内外の人材や外部講師を積極的に活用し、本物に触れる体験活動を計画的に取り入れる。
- ③ 交流や体験で学んだことが他の学習や生活場面に生かせるように、系統性のある学習を実践する。

- (3) 学びの積み重ねを共有しながら、発達段階に応じた生き方指導や進路指導を実践する。

- ① 保護者の教育的ニーズを丁寧に聞き取り、関係機関と連携して、安全で適切な教育環境を整える。
- ② 生徒の健康状態や緊急時の対応を共有し、危機管理意識を高めてインシデントの予防に努める。
- ③ 校外学習やオンラインを活用した体験学習、先輩の講話を聞くなどの実践を通して、将来の生活について考える機会を設定する。
- ④ ICTを活用しながら、生徒一人一人が表現したり伝えたりする方法の幅を広げる。
- ⑤ 社会のルールやマナーを学ぶ機会を学級ごとに設定したり、学部全体で時間を守ることへの意識を高めて実践したりする。

### <訪問教育（在宅、センター訪問）>

- 職員間で連携し、ねらいを共有しながら、ICTを活用した授業実践や同行訪問、スクーリングを行う。友達や教師との交流を通して興味・関心を広げ、人と関わる力を育てる。